

## キャリア形成に資する基本的な調査・研究

### 背景・目的

本研究は、学生が就職を希望する教育機関・企業等への視察・参加を通して、その業務を理解し、自らのキャリア形成に役立てていく短期インターンシップ型のフィールドワーク学習プログラムの構築を目的とする。

本学科の学生の進路は、教育機関（主に小学校・幼稚園）が多数を占めるが、企業等に就職するものもあり、現在のカリキュラムでは十分に対応できているとは言いがたい。

これまで学科では、教育機関の現場が求める教員を養成していくという観点に立ち、現場での体験的理解とその結果得られた経験知(体験知)の活用を進めてきたが、今回は、その対象を企業などにも広げ、学生のキャリア形成の拡張を目指すこととした。

自分のキャリア拡張の対象としての視察先の選定を通して、自らの就職に対する問題意識を確認するとともに、具体的な作業を通じて教育機関・企業等の研究を行い、知見を広げていく。さらに、実際にフィールドワークの実施に向けた準備の中で、コンピテンシーを培っていくことを目指すとともに、フィールドワークの体験によって就業に向けた動機付けを図っていく。

これによって、就業に向けた支援をより長期的に、そして具体的・組織的に行っていくことが可能になり、十分な準備のもと、学生を就職活動に展開させることが期待できると考える。

### 実施内容

本年度については、2月の中旬(1泊2日)に、千葉県・埼玉県・横浜市(政令指定都市)での小学校見学のほか、各地で活躍している学科卒業生との情報(意見)交換会を設定し、より具体的に現

場を理解することとした。また、実際に地域の学校以外の教育・文化施設にも赴き、地域の教育により広くふれるフィールドワークも実施した。

#### 1. 学校事情情報交換会

本学科卒業生で当該地域において教職に従事している先輩たちとの意見交換を行った。各地域の学校情報については、学校見学においても、情報の収集が可能であったが、直接、採用1～2年の教員に様子を聞くことで、より具体的で、生活に密着した情報を獲得することができたといえる。これは、ライフプランを構築する際に欠かすことのできない情報であり、採用後の生活設計を考えるきっかけとなったことは意義あることといえる。

#### 2. 小学校見学・体験研修

千葉県・埼玉県・横浜市(神奈川県)の3小学校を見学した。各学校では、校長先生から講話をいただき、全学年の授業を参観するとともに、校内の施設を見学した。また、昼には、学級に入り子供たちと給食をともにし、ふれあう機会を得ることができた。

### 結果及び考察

参加学生の教職教養の深化とキャリア形成に大きく寄与していることは、実施後の成果物や取組の様子から容易に確認できる。

今後は、これまで見てきた実施の時期及び期間、地域、形態など、1年をベースにした評価に加え、学科の4年間の教員養成カリキュラムにおける働きを検証しつつ、全体的な位置づけを検討し、より効果的なプログラムにして行く必要がある。